

一緒に食事世代交流

松山の子ども食堂



幅広い世代が会話しながら食事を
楽しむ子ども食堂(松山市で)

高齢者にも憩いの場

無料が低額で食事を提供する「ハレルヤ子ども食堂」が12日、松山市平和通の松山福音センターで開かれた。子どもたちだけでなく高齢者や親子連れら約100人が訪れ、幅広い世代の交流の場となった。

同食堂は松山福音センターと特定非営利活動(NPO)法人「アジアキッズケア」が共催。コロナ禍がきっかけでシングルマザーや高齢者、子どもの貧困問題を知り、3年半前から子ども食堂を始めた。同NPOの喜安勝也事務局長(67)に

よると、以前はメニューを決めてから食材を購入していたが、物価高騰の影響で提供を受けた食材からメニューを考えなければならなくなり、厳しい状況が続いているという。

この日は、朝から16人のボランティアが準備に取りかかり、ミートソースパゲティやコロツケ、コンソメスープなどを提供した。

2年ほど前から食堂に通っているという同市高岡町のパート従業員島津裕子さん(65)は「大人も気兼ねなく食事を楽しむことができ、幅広い世代と色んな話ができる。私にとつての憩いの場」と笑顔だった。

毎月第2、4土曜日に開催。大人200円、75歳以上の高齢者と高校生までは無料。